



東京福井県人会報

TOKYO FUKUI KENJINKAI

2019 春

祝 120 周年
そして令和へ



2018.10.28 シンフォニー・クラシカ



東京福井県人会 120 周年を祝い、ますますの発展を祈って乾杯！
(右から西川一誠知事、藤田道男県人会理事長、稲田朋美衆院議員、山谷えり子参院議員)



213 名が集い東京湾クルーズ



東京福井県人会120周年記念

東京湾サンセットクルーズ

2018・10・28 日の出埠頭発着

発足から120周年を迎えた2018年、東京福井県人会は記念事業の一環として十月二十八日、東京湾サンセットクルーズを実施し、県人会員をはじめ家族、友人ら213名がお祝いに集いました。

日の出埠頭を発着するレストランシップ「シンフォニー・クラシカ号」を借り切り、来賓として乗船した西川一誠知事、稲田朋美衆議院議員、山谷えり子参議院議員が祝辞を述べました。在京の県関係の行政や企業関係者のほか、金沢福井県人会の谷伊津子会長もはるばる駆け付けました。また、出港前には滝波宏文参議院議員も待合室や船内を訪れ、参加者らと挨拶を交わしました。

船内至る所では、福井県ゆかりのアーティストらによる豪華なパフォーマンスが披露されました。

福井県酒造組合の地酒試飲、福井市の「天たつ」の汐うに試食、アンテナショップ「ふくい南青山291」の出張販売コーナーも設け、福井一色のイベントとなりました。

戸田治彦120周年記念事業実行委員長は「さあ、ここからが県人会のさらなる未来への船出です」と挨拶。拍手を響かせつつ船は日の出埠頭に帰港しました。

出演いただいたアーティストの皆さん



シャンソンやカンツォーネ、クラシックなど幅広く歌うヴォーカリスト、尾野玲子さん（大野市出身）の歌が夕暮れの船内にしっとり。



和太鼓と歌のデュオ「まほろば」。歌の春（HARU）さん（坂井市出身）、太鼓の達（TATSU）さん（福井市出身）がつくる日本的ファンタジーの世界。



ブルースハープ、ハーモニカ奏者の西村ヒロさん（山口県出身）。著名音楽家多数との共演やCM、ドラマ等の音楽担当のほか、教則本も著す第一人者。



クラシックバイオリニスト、間脇佑華さん（福井市出身）の演奏。ピアノ伴奏は大石真裕さん。共にチェコ留学で培われた繊細で息の合った調べが会場を包みこむ。



クラシックピアニスト、今川裕代さん（福井市出身、大阪芸大准教授、東京音大指揮科特別アドバイザー）が奏でる旋律が月夜の訪れを告げる。



ジャズフルート奏者 Fuefuki Kana さん（鯖江市出身）と、ジャズピアニスト、坪口昌恭さん（越前市出身、尚美学園大学・大学院ジャズ&コンテンポラリー分野准教授）。それぞれブルーノート出演者としても知られる2人が、この日のためにスペシャル共演。



国内外で活躍するマジシャン、藤本明義さん（熊本県出身）はテーブルを回り参加者にマジックを披露。「あれれ？ 私の時計がいつのまに？」と山谷参院議員もびっくり。



ギター弾き語り、シンガーソングライターのeriさんは沖縄生まれ、福井育ち。ゆったり優しい空気をつくる。



「歌う応援隊ヒトミリイ」は、川縁清志さん（福井市出身、写真右）と人見仁子さん（大分県出身）によるシンガーソングライターユニット。福井市一乗谷の朝倉ゆめまる応援ソング、池田町応援ソングなども手がけている。